

03

第3章

活動計画の基本的な考え



1 活動計画の基本理念と基本目標

この活動計画では、住民や地域のつながりによって、その地域の課題の解決を目指すとともに、地域だけでは解決が困難な課題に対しては、行政計画である「第2次かほく市地域福祉計画」の基本理念及び基本目標を共通のものとするすることで、地域組織や福祉団体、民生委員児童委員、ボランティア、福祉サービス事業者などの専門機関、その他の関係機関、行政などのさまざまな協力によって、地域課題の解決を図ることができる体制づくりも目指します。

基本理念

「おたがいさまの心でつなぎ、
みんなで支えあうまち かほく」

基本目標

1. 健康な生活を送ろう
2. 地域と「つながろう」 地域で「参加しよう」
3. やさしい心を育む福祉教育（学び）を推進しよう
4. みんなで「支えあおう」「助けあおう」
5. 安心して暮らせるまち・住まいを確保しよう
6. 相談しやすい環境をつくろう
7. 福祉サービス・体制を充実させよう

04

第4章

活動計画の推進



1 活動計画の体系図

【基本理念】

【基本目標】

【目指す方向性】

おたがいさまの心でつながぎ、みんなで支えあうまちかほく

(1) 健康な生活を送ろう ●18ページ

声を出して笑いましょう

(2) 地域と「つながろう」
地域で「参加しよう」 ●19ページ

自分から積極的なあいさつ・声かけからはじめて、コミュニケーションを深めましょう

地域行事や団体活動などの積極的な参加でつながりを深めましょう

住民の交流のための集いの場をつくりましょう

(3) やさしい心を育む福祉教育
(学び)を推進しよう ●21ページ

地域や福祉を身近に感じられるような環境をつくりましょう

(4) みんなで「支えあおう」
「助けあおう」 ●22ページ

近所でちょっとした困りごとを発見して、できる範囲で手助けしましょう

地域の困りごとを私たちの困りごととして、みんなで話しあいましょう

(5) 安心して暮らせるまち・
住まいを確保しよう ●24ページ

地域で自立した生活が送れるよう支援が必要な人を見守りましょう

災害の備えをしましょう

(6) 相談しやすい環境をつくろう ●26ページ

近所で発見した困りごとを解決につなげる橋渡しをしましょう

(7) 福祉サービス・体制を
充実させよう ●27ページ

地域全体で支えあいの輪を広げましょう

市全体で取り組むべき課題への対策をみんなで考えましょう

2 地域における福祉活動の展開

基本目標 1

健康な生活を送ろう

地域で健康的な生活が続けるために、自己管理だけでなく、お互いの健康に気を配りあい、笑いあえる関係づくりで、からだの健康だけでなく、心の健康づくりも心がけましょう。

目指す方向性①

声を出して笑いましょう

●笑いあって心もからだも健康な生活を送りましょう

自分自身の健康に気をつけながら、隣近所の人や友人、知人などとも、お互いの健康に気配りあい、自然に笑いあえる関係づくりを心がけて、心もからだも健康的な生活を過ごしましょう。

●元気な地域を目指す活動の輪を広げましょう

地域全体が健康的で明るく笑顔で過ごせるよう、健康づくりに取り組む活動の輪を広げましょう。

社会福祉協議会としての主な取り組み

地域のお茶の間活動（サロン活動）の推進

地域の住民にとって、気軽に集える交流のための場である地域のお茶の間活動（サロン活動）の推進・支援を図ります。

福祉交流事業の開催

子どもや高齢者、障がいのある方、ボランティアなど、状況・立場の違うさまざまな人との交流で地域でのつながりを広げます。



地域と「つながろう」 地域で「参加しよう」

お互いに助けあう・支えあう関係づくりの第一歩として、隣近所の方などとのあいさつや声かけでお互いにコミュニケーションを深めながら、地域での行事や交流の場など、気軽に参加しやすい身近な活動・集いの場に参加して、地域のいろいろな人とのつながりを深めましょう。

目指す方向性①

自分から積極的なあいさつ・声かけからはじめて、コミュニケーションを深めましょう

- 一人でも多くの人に自分からあいさつ・声かけをしましょう

あいさつを待つのではなく、自分から率先して一人でも多くの人にあいさつ・声かけをしましょう。また、あいさつ・声かけをされたら快く返事をしましょう。

- コミュニケーションを深めるために自分から話しかけましょう

お互いのことに関心を持って、自ら積極的に話しかけ、会話を通じてより深いコミュニケーションを図りましょう。

目指す方向性②

地域行事や団体活動などの積極的な参加でつながりを深めましょう

- 地域行事や団体活動に積極的に参加して、いろんな人とつながりましょう

地域行事や地域組織・福祉団体の活動へ積極的に参加して、さまざまな人とコミュニケーションを図って新しいつながりをつくりましょう。

- みんなで誘いあって地域行事に参加しましょう

住民が集まる地域行事にこれまで以上の関心を持ち、隣近所で呼びかけあい、誘いあって一人でも多くの人に参加できるように心がけましょう。

●さまざまな方法で地域行事の積極的な周知に努めましょう

地域行事に住民が積極的に参加してもらえるよう、さまざまな方法で周知や参加しやすい雰囲気づくりを心がけましょう。

●住民が参加しやすい地域行事や活動の工夫を考えてみましょう

地域行事を振り返り、これまでの伝統を守りながらも、一人でも多くの住民に参加してもらえるよう、新しい工夫などを協議・検討してみましょう。

●異なる世代、他団体との交流でつながりを深めましょう

住民の参加意欲を高めるために、子ども・青壮年・高齢者といった異なる世代との交流や地域で活動するさまざまな団体との交流で、つながりを深める機会を持ちましょう。

目指す方向性③

住民の交流のための集いの場をつくりましょう

●世代間交流の機会をつくりましょう

子どもや高齢者などの世代間で交流できる機会づくりを検討しましょう。

●地域で交流の場づくりに取り組みましょう

子どもや高齢者、障がいのある方など、地域に住む誰もが交流できる場づくりに積極的に取り組みましょう。

社会福祉協議会としての主な取り組み

地域座談会の開催

地域に暮らす住民が困りごとなどについて話しあうことで、地域での生活課題を共有し、地域全体で解決に取り組む地域づくりを目指して開催します。

地域のお茶の間活動（サロン活動）の推進[再掲]

地域の住民にとって、気軽に集える交流のための場である地域のお茶の間活動(サロン活動)の推進・支援を図ります。

福祉交流事業の開催[再掲]

子どもや高齢者、障がいのある方、ボランティアなど、状況・立場の違うさまざまな人との交流で地域でのつながりを広げます。

やさしい心を育む福祉教育（学び）を推進しよう

子どもから高齢者まで世代を問わず、自分たちの地域を良くしたいという行動・活動につながるよう、地域の課題に気づき、共有し、理解を深めるための機会づくりに取り組みましょう。

目指す方向性①

地域や福祉を身近に感じられるような環境をつくりましょう

●一人ひとり違うその人らしさを理解しましょう

自分と相手とは違うことがあたり前のことと理解して、相手の置かれている状況や気持ちを想像してみましょう。

●子どもから大人まで「人への思いやり」「共に生きる力」を育む学びの場づくりに取り組みましょう

年代を問わず、地域全体で人への思いやりや共に支えあい・助けあいながら、その地域に愛着を持って生きる力を育む学びの機会をつくりましょう。

社会福祉協議会としての主な取り組み

福祉教育の推進（児童生徒・地域）

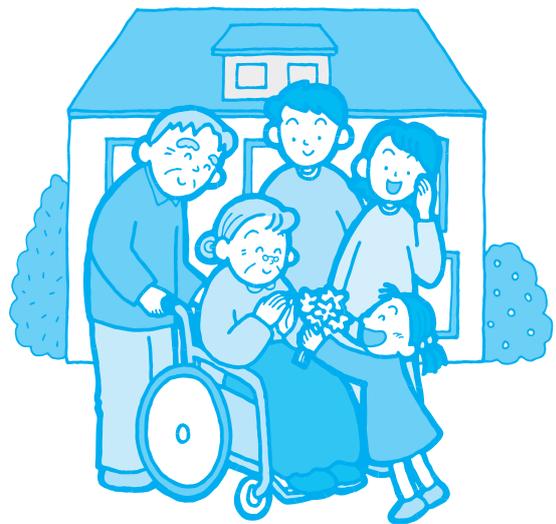
子どもから大人まで福祉教育の機会を提供し、福祉への関心・意識の向上を図ります。

ボランティア活動の推進

自分自身を豊かにしてくれて、また地域や社会をよりよくしていくことにも役立つ、身近な活動であるボランティア活動の推進・支援を図ります。

福祉交流事業の開催[再掲]

子どもや高齢者、障がいのある方、ボランティアなど、状況・立場の違うさまざまな人との交流で地域でのつながりを広げます。



みんなで「支えあおう」「助けあおう」

地域で困っている人や地域全体の課題に対して、地域の住民一人ひとりが無理なく、できる範囲で支えあえる・助けあえる関係を目指して、地域全体でつながりづくりを進めましょう。

目指す方向性①

近所でちょっとした困りごとを発見して、できる範囲で手助けしましょう

- ちょっとした頼みごと・頼まれごとが気軽にできる関係づくりを目指しましょう

身近に困っている人がいたら、自分が無理なくできる範囲でのちょっとした手助けができるよう心がけましょう。また、お互いさまの心で、ちょっとした頼みごと・頼まれごとを気軽にできる関係づくりを目指しましょう。

- 困りごとなどを共有したり、解決のためのヒントを探す機会を設けましょう

困りごとなどを話しあい、日ごろの情報を交換・共有したり、困りごとを解決するためにヒントを探す機会を設けることを検討してみましょう。

目指す方向性②

地域の困りごとは私たちの困りごととしてみんなで話しあいましょう

- 共に助けあえる関係づくりを強めていきましょう

地域のつながりを再点検して、地域での助けあい・支えあいの強化に向けて、話しあいの場に参加し、住民同士がよりよい関係を築き、安心して暮らせる地域を目指しましょう。

- 地域の課題を協議する場へ積極的に参加しましょう

自分にとっての普段の困りごとが地域全体に共通する課題として受け止めて、解決に向けて地域で協議をする場に率先して参加しましょう。

- 地域住民の多くに共通する困りごとを共有する場を設けましょう

地域に住む多くの住民が共感できる困りごとがあるかもしれません。その困りごとが地域全体の課題であることを住民同士で確認・共有できる場を設けましょう。

●地域住民と専門職・機関が一体となって課題の解決に向けて協議する場を設けましょう

地域の住民と専門職・機関が協力して、地域の課題解決に向けて協議する場を設置して、地域全体の福祉向上を協議しましょう。

社会福祉協議会としての主な取り組み

地域座談会の開催[再掲]

地域に暮らす住民が困りごとなどについて話しあうことで、地域での生活課題を共有し、地域全体で解決に取り組む地域づくりを目指して開催します。

福祉教育の推進（児童生徒・地域）[再掲]

子どもから大人まで福祉教育の機会を提供し、福祉への関心・意識の向上を図ります。

ボランティア活動の推進[再掲]

自分自身を豊かにしてくれて、また地域や社会をよりよくしていくことにも役立つ、身近な活動であるボランティア活動の推進・支援を図ります。

安心して暮らせるまち・住まいを確保しよう

地域でのつながりを深めながら、いつまでも安心して暮らし続けることができるよう、お互いに見守りあい、いざというときには助けあえる地域を目指しましょう。

目指す方向性①

地域で自立した生活が送れるよう支援が必要な人を見守りましょう

●気にかかる人を見守りましょう

少し気にかかる人の日常生活をそっと見守りましょう。「いつもと違うかも」と感じたら「どうしたのかな」と気にかけてみましょう。

●支援が必要な人を見守りましょう

何らかの支援が必要な人を無関心でやり過ごさず、日常生活を気にかけてみましょう。

●支援が必要と思われる人を把握しましょう

地域の身近な民生委員児童委員や自治会長などと情報を交換・共有しましょう。

●地域住民による見守りネットワークづくりをすすめましょう

自治会単位など、より身近な範囲で無理のない目くばり・気くばりの体制づくりをすすめましょう。

目指す方向性②

災害の備えをしましょう

●災害時に安否確認、助けあいができるように日ごろから隣近所と関わりをもちましょう

日ごろからの関わりがなければ、緊急時にお互いの安否確認、助けあいをするのが難しくなります。災害に備えて日ごろから隣近所と関わりをもちましょう。

●災害時の備えをしましょう

家族との連絡方法や避難場所・避難経路の確認、食料の備蓄、避難訓練や救命講習への参加など、災害に備えましょう。

●災害時の対応について話し合いましょう

災害が発生した時、手助けが必要な人の対応も含め、どのような行動をとればいいのか話し合いましょう。

●自主防災組織が中心となり地域全体で災害に関する訓練や講習を行いましょう

自主防災組織が中心となって、地域全体で災害に備えた訓練や講習を行い、防災意識を高めましょう。

●災害時に助けを必要とする人を把握し、緊急時の対応を考えましょう

高齢者や障がいのある方など、災害時に助けを必要とする人の情報把握と支援方法について関係機関と連携、協働していきましょう。

社会福祉協議会としての主な取り組み

見守り活動・見守りネットワークに対する支援

民生委員児童委員や無理なくできる範囲で援助・相談活動を行う地域福祉推進員による見守り活動をはじめ、住民や地域組織などの協力も得て、地域のみんなで支えあう見守りネットワークに対する支援を図ります。

防災・減災活動の推進

自治会、自主防災組織の防災・減災活動を通じて、平常時から地域のつながりづくりや地域の防災力強化の推進を図ります。

ボランティア活動の推進[再掲]

自分自身を豊かにしてくれて、また地域や社会をよりよくしていくことにも役立つ、身近な活動であるボランティア活動の推進・支援を図ります。

相談しやすい環境をつくろう

地域だけでは解決が難しい、複雑で深刻な課題は、専門機関と協力しながら、地域だけでなく専門機関も巻き込んで、解決に取り組むことができる体制を整えましょう。

目指す方向性①

近所で発見した困りごとを解決につなげる橋渡しをしましょう

●日常生活の異変に気づいたら知らせましょう

新聞や郵便物がたまっているなどの異変があれば、声かけや誰かに知らせましょう。

●解決が難しい困りごとは専門の相談窓口へ橋渡ししましょう

地域では解決が難しい困りごとは、専門の相談窓口へ円滑な橋渡しをして、早期に解決できるよう手助けができる体制を整えましょう。

●地域住民と地域組織、民生委員児童委員などが連携した見守り活動を推進しましょう

地域で発見した困りごとを抱える人に対して、住民と地域組織、民生委員児童委員などが連携して見守り活動などを進めて、住民みんなで支える環境づくりを図りましょう。

社会福祉協議会としての主な取り組み

総合相談機能の充実

地域の住民の相談を確実に受けとめ、各関係機関等との連携・協働による切れ目のない支援の充実を図ります。

権利擁護体制の充実

認知症や障がい等により物事の判断をするうえで支援を必要とする住民や日常生活で困難な状況にある住民に対して権利擁護体制の充実を図ります。

見守り活動・見守りネットワークに対する支援[再掲]

民生委員児童委員や無理なくできる範囲で援助・相談活動を行う地域福祉推進員による見守り活動をはじめ、住民や地域組織などの協力も得て、地域のみんで支えあう見守りネットワークに対する支援を図ります。



福祉サービス・体制を充実させよう

福祉サービスの提供だけでは支えられることが難しい、地域で困りごとを抱えている人に対して、他人事ではなく我が事として、地域の課題として受け止め、行政・さまざまな関係機関と協力しながら、地域全体で支えあえる・助けあえる体制づくりを目指しましょう。

目指す方向性①

地域全体で支えあいの輪を広げましょう

●共通する目的・課題を持った団体に積極的な参加をしましょう

自分と同じ目的・課題を持つ地域組織や福祉団体の活動に積極的に参加し、気持ちを分かちあえる人たちとのつながりをつくりましょう。

●地域で支えあうしくみにみんなが参加しましょう

地域の住民と専門機関が連携して、地域で助けあう・支えあうしくみづくりを一緒に考えて、一人でも多くの住民が積極的に参加しましょう。

●さまざまな団体との連携を強化しましょう

地域で活動するさまざまな団体と情報交換や協働活動を通じて連携強化を図り、支えあいの輪を広げましょう。

●新たなつながりをつくりましょう

これまでに交流のなかった団体やグループとの新しいつながりづくりを積極的にすすめましょう。

目指す方向性②

市全体で取り組むべき課題への対策をみんなで考えましょう

●地域では対応できない取り組みを発信しましょう

どの地域にも共通する地域だけでは解決できない大きな課題は、さまざまな組織や団体・グループ、行政などとの連携によって解決を図る取り組みを発信しましょう。

社会福祉協議会としての主な取り組み

地域座談会の開催[再掲]

地域に暮らす住民が困りごとなどについて話しあうことで、地域での生活課題を共有し、地域全体で解決に取り組む地域づくりを目指して開催します。

総合相談機能の充実[再掲]

地域の住民の相談を確実に受けとめ、各関係機関等との連携・協働による切れ目のない支援の充実に図ります。

3 地域福祉活動を支援する体制

(1) 社会福祉協議会の取り組み

地域に暮らしづらさや困りごとなどの課題を抱える住民がいて、その地域で同じ課題を抱える住民がいるなら、それは個人だけの課題ではなく、地域の課題といえます。自分たちの地域の課題解決は、地域ぐるみで取り組むことが重要になってきます。社会福祉協議会では、地域とともにより住みよい地域づくりを進めるため、それぞれの目標に向けて地域福祉活動の支援に取り組みます。

■実績と目標

主な取り組み／具体的な事業・活動	実績 2017年度(H29)	目標 2023年度
地域のお茶の間活動(サロン活動)の推進		
・地域のお茶の間活動(サロン活動)の活動数	20ヶ所	25ヶ所
<対応する基本目標> [1] 健康な生活を送ろう [2] 地域と「つながろう」地域で「参加しよう」		
福祉交流事業の開催		
・障がい者交流スポーツ大会の参加者数	77名	100名
・聴覚障害者等を対象とした生活教室の参加者数	32名	40名
合 計	109名	140名
<対応する基本目標> [1] 健康な生活を送ろう [2] 地域と「つながろう」地域で「参加しよう」 [3] やさしい心を育む福祉教育(学び)を推進しよう		
地域座談会の開催		
・地域座談会の開催小学校区数 ※目標値は実績小学校区以外の小学校区での開催	2小学校区	2小学校区
<対応する基本目標> [2] 地域と「つながろう」地域で「参加しよう」 [4] みんなで「支えあおう」「助けあおう」 [7] 福祉サービス・体制を充実させよう		
福祉教育の推進(児童生徒)		
・ジュニアボランティア体験事業(小学生)参加者数	23名	25名
・ジュニアボランティアサークル(中学生)メンバー数(年度末)	36名	45名
合 計	59名	70名
<対応する基本目標> [3] やさしい心を育む福祉教育(学び)を推進しよう [4] みんなで「支えあおう」「助けあおう」		

主な取り組み／具体的な事業・活動	実績 2017年度(H29)	目標 2023年度
福祉教育の推進（地域）		
・福祉教育事業の参加者数 （高齢者に関する講義、障がい者理解のための実技・講義など）	46名	100名
< 対応する基本目標 > [3] やさしい心を育む福祉教育（学び）を推進しよう [4] みんなで「支えあおう」「助けあおう」		
ボランティア活動の推進		
・ボランティア登録者数（年度末）	1,197名	1,300名
< 対応する基本目標 > [3] やさしい心を育む福祉教育（学び）を推進しよう [4] みんなで「支えあおう」「助けあおう」		
・市ボランティア連絡協議会への参画団体数	21団体	25団体
< 対応する基本目標 > [5] 安心して暮らせるまち・住まいを確保しよう		
防災・減災活動の推進		
・つながり仕掛隊の派遣回数（年間）	3回	9回
< 対応する基本目標 > [5] 安心して暮らせるまち・住まいを確保しよう		
見守り活動・見守りネットワークに対する支援		
・地域福祉推進員数（年度末）	184名	250名
< 対応する基本目標 > [5] 安心して暮らせるまち・住まいを確保しよう		
・地域福祉推進チーム連絡会の支援回数（年間）	9回	27回
< 対応する基本目標 > [6] 相談しやすい環境をつくろう		
権利擁護体制の充実		
・権利擁護に関する初回相談受付件数（年間）	27件	50件
< 対応する基本目標 > [6] 相談しやすい環境をつくろう		
総合相談機能の充実		
・福祉なんでも相談の相談受付件数（年間）	47件	80件
< 対応する基本目標 > [6] 相談しやすい環境をつくろう [7] 福祉サービス・体制を充実させよう		

(2) 社会福祉法人等を中心とした取り組み

地域における課題の発見や解決に向けた地域ぐるみの行動や活動だけで地域課題が全て解決できるものではありません。

地域だけでは解決が困難な課題に対して、高齢者や子ども、障がい者など各分野の福祉サービスに関して専門的な知識や経験のある福祉サービス事業を運営する社会福祉法人等を中心とした協議の場を設け、共に考え、共に取り組む体制を整えて、地域づくりを支えます。

■ 参考

かほく市内で福祉施設・事業を運営する社会福祉法人	7法人
--------------------------	-----